

# 共同参画社会の実現をめざして どう思いますか、「夫は仕事、妻は家庭」

名寄市男女共同参画推進委員会 委員長 大坂 祐二

去る11月15日に名寄市立大  
学道北地域研究所の市民公開  
講座として行った講演「少子  
化時代の男女共同参画」から、  
内容の一部をご紹介します。



内閣府の世論調査のなかに  
「『夫は外で働き、妻は家庭  
を守るべき』という考え方に  
ついてどう思いますか」とい  
う項目があります。

平成4年の調査では6割の  
人々が「賛成（どちらかとい  
えば賛成を含む）」と答えてい  
ましたが、平成19年の調査で  
「反対（どちらかといえば反  
対を含む）」が半数に達し、21  
年の調査では「反対」が55%  
だったことにより、男女の役  
割を固定されたものとして考  
えないことが、男女共同参画  
ということについて受け入れ  
られている目安と考えられて  
きました。

しかし平成24年の調査では  
これが逆転し、「賛成」が51・  
6%となりました。年輩の方

の「賛成」の多さが反映してい  
るという面がありますが、20  
代のなかで「賛成」が50%あ  
り、40〜50代よりも「夫は外、  
妻は家庭」の支持率が高いこ  
とが特徴的です。

この結果が公表されたとき、  
内閣府の担当者は「東日本大  
震災後の家族の絆をより重視  
する傾向の表われとみられる」  
とコメントしたそうです。

男が家庭を忘れて仕事に専  
念することも「家族の絆を重  
視」することになるのではし  
ょうか。

ここでは詳細は省略します  
が、東京大学の本田由紀教授  
がこの調査結果について興味  
深い分析をしています。

ひとつは、一時的な景気回  
復のなかで、20代の未婚者の  
一部に、日本社会に根強くあ  
る「男が稼ぎ手」の意識が復  
活していること。

もつひとつは、働いている  
既婚女性が、仕事と子育ての  
両立の難しさを実感し、子ど

ものためを思えば家庭に入る  
しかない」と「負い目」や「あ  
きらめ」の意識をもっている  
ことです。

「女性の活躍」がアベノミク  
スにおける成長戦略の目玉だ  
とされています。管理的・指  
導的な役職への女性の登用、  
保育所の待機児童の解消とい  
った目標が掲げられています。  
男女共同参画という点からも  
歓迎すべきことです。

しかし、その目標とは程遠  
い現実がここにはあります。

どうすればその理想と現実  
の差を埋められるのか。そこ  
には人々の意識の変化という  
大きな課題が横たわっている  
だけに、拙速にならず、じつ  
くり丁寧な取り組みが求めら  
れるのです。

▼問い合わせ

企画課男女共同参画担当

(名寄庁舎3階)

01654③2111

(内線3305)

No.1

## 「Vielen Dank 9000km離れた国で」 日独スポーツ少年団同時交流報告



◀ベルリンのホストファミリー  
との写真  
前列左(菊地)と前列右(小林)

フィーレン ダンク…感謝の気持ち

風連トランポリン少年団 菊地 美帆



2013年夏、私は日本スポーツ少年団の団員と  
して、90人の仲間と共に9000km離れたドイツ  
に行き「日独スポーツ少年団同時交流」に参  
加してきました。北海道グループとして指導者を含  
め7人で体験してきたドイツでの18日間は大変重  
なものであり、生涯忘れられないものになりました。

風連トランポリン少年団からは、もう一人、小林  
舞さんが参加しました。この体験の様子を二人で分  
担して数回にわたって報告させていただきます。

1日目から3日目の午前まではフランクフルトで  
の全体プログラムでした。フランクフルトに到着直  
後に食べた食事は、パン・ハム・チーズ・パスタと、

すでにご飯が恋しくなっていました。

2日目はレーマー市役所を表敬訪問し、副市長さ  
んの話を聞いた後、飲み物とパンで立食形式  
の歓迎を受け交流の始  
まりを強く感じました。



レーマー市副市長と記念撮影▶

日独スポーツ少年団同時交流とは  
国際経験豊かな指導者を育成するため、日独両国のスポーツ少  
年団のリーダーが互いに相手国を訪問し、グループに分かれて  
各地でホームステイをすると共に、スポーツ交流や視察研修な  
どのプログラムを18日間に渡り実施する交流事業です。